

『日本外交のグランドデザイン』

北岡 伸一 氏講演

平成 24 年 5 月 26 日

於：梅田クリスタルホール

文責：晴佐久 浩司

○概要

世界の情勢を理解したうえで日本が進むべき道を探っていかななくてはならない。外交は地政学の見地を考慮せざるを得ず、日本にとって重要なアメリカまたは中国と今後どのように諸課題を交渉していくべきか。解決手法として「開かれた国益」「アジアの秩序」「日本の姿勢」をキーワードに、日本外交のビジョンを示された。

1. 開かれた国益

(1) 世界の情勢

現在、米中の2大国、G8、BRICs、G20 とかつての東西又は南北の問題を超えて、複雑な関係となり各グループの主張には当然隔たりがある。この複雑な情勢下において良好な国際関係を築いていくためには3つの次元から主権を捉える必要がある。すなわち、①力（軍事力）、②富（経済力）、③価値（文化）である。具体的には、軍事力では武力的手段を放棄した真の平和国家として、経済力ではGDP3位の実力と人口減少社会の先駆者として、そして最も誇り得る文化では太古の歴史を有する継承者として世界にもっと訴えかけていけば良い。各次元で日本のプレゼンスを発揮することができれば、模範国として信頼を醸成でき、G8 と G20 の仲介者に成り得ることを自覚して、国際社会に貢献していったほしい。

(2) 開かれた国益

各国が外交を行う上で欠かすことができない観念が“国益”なのだが、日本の場合には消極的権限争い、いわゆる縦割による省益優先が外交分野にまで横行しており、国益の喪失が起きてしまっている。ただ、外交とは相手がある話なので、日本の国益ばかり主張したところで話し合いは進み得ない。今後は、他国と折り合える開かれた国益を目指していく必要がある。

2. アジアの秩序

(1) 国際秩序

近代の国際秩序では主権国家の対等が前提であり、主権・領土・国民の絶対独立性は担保されている。しかし、東アジアの伝統的秩序においては常に中国を中心に語られ、中華秩序（従順）または華夷秩序（敵対）で成立しており、国家の関係は主従関係にあり、主権国家たる要件を満たしていない。

(2) 対中国関係

中国は近代国際法に表面的には従っている振りをしているが、内実、都合の良い解釈による外交を行っている。その事案として、排他的経済水域（EEZ）が挙げられる。EEZの国際法の解釈で、中国は日本に対してはガス田を巡って大陸棚までを主張しているが、ベトナムに対しては中間線を主張しており、それぞれ中国が有利な考え方を述べるような都合主義の国である。このような国に対してバイで交渉すべきではなく、国際裁判にて堂々と日本の立場を主張すべきである。

他方、いわゆる歴史問題については、政治とは切り離してお互いに歩み寄りを継続していくしかない。共通認識に達することは不可能であり、事実を事実として素直に認め、過去から未来へとベクトルを変えていく努力をすべきである。

(3) 中国とアメリカ

両国の将来を展望すると、現時点では中国の伸びが顕著に見えるが、中国は日本以上の深刻な人口減少社会を迎えるのに比べ、アメリカは将来的に人口増加すると予測されている。また、アメリカは国土の80%が平地で利用可能な土地が多いのに対し、中国は15%しか平地がない。

視野を転じると、東南アジアでは中華秩序の国々が日米の協力を受けて、国家主権を主張するようになってきている。一方、オーストラリアの貿易は、対日本より対中国が上回り、中国の存在が大きくなっている。日本が将来どちらの国との関係を深める方が得策かは、これらの周辺諸国とのバランスに配慮しつつ見極めていかねばならない。

3. 日本の姿勢

(1) 安全保障

国家の安全保障を交渉する上では、相手国との信頼に基づきじっくりと時間をかけて実施していく必要がある。しかし、一部の政治家やマスコミの利益のために、往々にして情報統制ができず、機密情報が漏れてしまう。このことは相手国の信頼を著しく失墜させることとなり国家的損失を招く恐れもある。国民が知る権利とは、今すぐ知ることまで権利と言えるのか議論の余地がある。

集団的自衛権については、法解釈で行使できないと言っているだけであり、日本国憲法では実質持っているものと世界では認識されている。この問題も、自衛隊のPKO派遣が増加する中、早々に解決を図るべきである。

(2) リスクを取る国へ

日本がTPPを参加表明したことにより、カナダ・メキシコも参加することとなり、アクターが多いほど日本に有利な展開を引き出すことが可能となる。また、中国も主導権を握るためには日本を手放すわけにはいかず、日中韓FTA交渉を進めるように提案してきた。このようにある程度リスクを取らなければ対外関係を打開することはできず、日本だけが世界に取り残されていく悲惨な結果を招きかねない。

以上